

2023

令和5年4月27日

第7号

(通算53号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!

2026年、県立IT短大は「大学校」に変わります。



★ リスペクトで学び合う

4月20日（木）に「県立中央青年の家」で実施した交流会、参加した新入生の感想の一部をご紹介します。リスペクトの心で学び合ったようです。



山ビンゴで、山中を歩き回る学生達

●DELA CRUZ JOHN MATHEW (土浦湖北高卒)

私は交流イベントで新しい人たちと話し、様々な経験を得ました。今回の交流イベントで自分のクラスの人たちだけじゃなく、他のクラスの人たちとも仲良くなった気がします。バスで友達と一緒にゲームやり、時間を過ごしました。やはり、友達と一緒に過ごす楽しい時間はとても速いです。

土浦の中央青年の家に着いて、同クラスの4・5人組に分かれ、話したことない人とも組み、山ビンゴをやりました。自分のグループは4人組で、普段人が通らない道を通り、一回迷子になりました。その時は、日熊先生が私たちのところに駆けつけてきて、私たちを案内してくれました。日熊先生のスタミナと持久力に驚きました。

カレー作りのグループでは、自分のグループは生徒6人と先生2人でした。自分は焚き火の担当でうまく火を起こせることができ、グループの仲間たちに褒められて、嬉しかったです。みんなのおかげで焚き火をうまく起こせ、カレーをうまく作れました。

このようなイベントは生徒同士の仲を深めると同時に生徒と先生との仲も深めることができると思い、とてもいいイベントだと思います。

●小野瀬あゆ (那珂高卒)

今回の交流イベントは、今まで話したことのない人であっても、一度は自分から話しかけることを目標として動きました。

山ビンゴでもカレー作りでもこの目標は概ね達成できたのですが、一つ反省点が見つかりました。それは、山ビンゴでの計画性の無さです。山ビンゴでは同じクラスでのチーム活動だったため、チームの雰囲気はよかったと思います。ですが、チームでどう動いていきたいかを話し合わずに進めてしまったため、全く数字を探せていない場所もあり、全体的に行き当たりばったりになってしまいました。

もらった地図を良く見て、どう動けば一番効率良くビンゴの数を増やせるか考えて動くべきだったと感じています。

学校を卒業してプログラマーとして働き始めた際にも計画性の有無は仕事の出来に関わると思うので、今回の反省を活かして毎日の勉強に励もうと思います。



●DIANA RIZKI OKTARINA (インドネシア教育大卒)

この学校で2週間ぐらい勉強して、楽しみにしている交流イベントが来ました。

最初の山ビンゴのグループは3人でやりました。遠いところから始めて、一文字のカタカナだけではなく、クイズみたいなものと一緒に解決して、クイズに答えました。日本語の豆の種類などのクイズなので、あの二人が答えてみたら、私はビンゴ表に書きました。良いチームワークでした。私たちが描いたビンゴは失敗があっても、皆さんの力で、ビンゴが終わりました。

カレーグループは先生を含め、8人になりました。役割が決まっていないうのですが、食器の準備、ご飯、カレー、掃除などは順調でした。先生までも色々助けてくれて、良いチームワークでした。全ての皆さんは片づけていて、学校に戻りました。今日のイベントは先生方と生徒の皆さんだけではなく、運転手さんや茨城県立中央青年の家の人たち、すべての皆さんのチームワークで成功でした。ありがとうございました。楽しかったです。

交流イベントの菜→



●櫻内 祥 (水戸啓明高卒)

私は今回の交流イベントで沢山の経験をしました。

一つ目は、飯盒炊飯の時にコミュニケーションをとることの大切さを知りました。理由は、コミュニケーションをとることによって役割分担することもできるし、メンバーにやって欲しいことを頼んだりすることもできるので、とても効率よく班でまとまりをもって行動することができるからです。

二つ目は、積極性を持つことは大事だということです。積極的に相手に話しかけていかないと相手に自分の気持ちは伝わらないので伝えるためには必要だからです。

三つ目は、目を見て話すことは大切だということです。目を見て話すことによって、相手の話を集中して聞くことができるし相手にも話をきいてくれていると思うので大切だということ学びました。

最後に、今回の交流イベントで同学年の何人かの人ともなかよくなれたので良かったです。

●飯村寧音 (水城高卒)

私は、今回の交流イベントを通して自分のクラスだけではなく、他のクラスともコミュニケーションをとることができた。

最初の山ビンゴでは、同じクラスの班の人達と協力しながらキーワードを探すことができ、お互いのことを話し合うことができ新たな一面を知れた。足場が悪い所は班の人達が気に掛けながら歩くことができた。

カレー作りでは、他クラスと合同でそれぞれ役割分担を決めて行うことができた。今までは接する機会が無かったため、作業の合間に雑談することが出来て良かったと思った。

他の班の人たちとも交流を深めることが出来て嬉しかった。先生の方々とも授業のことや今後のコース選択、基本情報技術者試験についてのアドバイスを聞いて大変参考になった。

ITから創造した未来へ



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500

